

学年	高校3年	教科	数学	科目	数学演習	単位数	4
教科書名 (主教材名)	数学C (数研出版) キートレーニング数学演習 IAIBC (数研出版)			副教材名	サクシード 数学III+C (数研出版)		
コース・クラス	選抜・N進理系						

I. 目標

数学の基本的な原理や法則を理解させ、知識の習得と技能の習熟を図り、それらを的確に活用する能力を育てる。日本大学基礎学力到達度テストで必要な数学I・A・II・B・Cの基本事項を学び、日本大学基礎学力到達度テストの得点率8割を目標とする。

II. 授業のねらい

基本事項をしっかりと理解し、知識を整理するとともに、総合的に数学を解く力を身につける。その時々で問題を解く時間を設定し、日本大学基礎学力到達度テストをイメージさせる。

III. 授業の進め方

1. キートレーニングを中心に、授業を展開する。日本大学基礎学力到達度テストの過去問題や演習プリントなども適宜教材として扱う。
2. 小テスト実施し、定着の度合いを図る。

IV. 学習上の留意点

1. テキスト、授業用ノートを用意して授業に臨むこと。
2. 定期試験の返却後、間違えた問題を確認し、復習を必ず行うこと。
3. 提出物の期限は必ず守ること。

V. 定期試験

日本大学基礎学力到達度テスト相当の問題を幅広く出題する。

- 1学期 中間試験 : 複素数平面・数学IA
 1学期 期末試験 : 数学IIB
 2学期 期末試験 : 基礎学到達度テスト・数学IA

VI. 評価の方法

定期試験、小テスト、提出物の提出状況と内容、授業の取り組み方などを総合的に評価する。

Ⅶ. 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標				
一学期	4	【数学C】 3章 複素数平面	定期試験 小テスト 提出物	<ul style="list-style-type: none"> ・複素数の図形的意味を理解する。 ・複素数の極形式について理解する。 ・複素数を用いて、図形に関する等式や性質を証明ができるようになる。 				
	5	【数学I】 第1章 数と式、不等式、命題 第2章 2次関数 第3章 図形と計量			<ul style="list-style-type: none"> ・基本事項を確認し、キートレーニングを通して、応用力を身につける。 			
	6	第4章 データの分析 【数学A】			<ul style="list-style-type: none"> ・演習プリントを通して、日本大学基礎学力到達度テストにより近い問題に慣れる。 			
	7	第5章 場合の数と確率 第6章 図形の性質 第7章 整数の性質 【数学II】			<ul style="list-style-type: none"> ・日本大学基礎学力到達度テストを意識し、時間配分を考えながら問題に取り組むことができる。 			
		第8章 式と証明 第9章 複素数と方程式 第10章 図形と方程式 第11章 三角関数 第12章 指数関数・対数関数 第13章 微分法・積分法 【数学B】			<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い知識を習得し、個人で勉強を進めることができる。 			
		第14章 数列 第15章 統計的な推測 【数学C】						
		第16章 ベクトル						
	一学期	9			基礎学力到達度テスト対策 数学IA 演習	定期試験 小テスト 提出物	<ul style="list-style-type: none"> ・過去問題を使用して、各々正答率を上げる。過去問題で8割以上得点できる。 ・大学入学後を見据え、高校数学だけでなくいろいろな数学の問題に取り組み、知識の幅を広げる。 	
		10						
		11						
		12						

※ シラバスの内容（時間や事項）については、理解度やその他の都合により変更することもあります。